

～ 歴史と想いを、新しい風にのせて～

若草山

一条通り



新しい学校のイメージ(南西上空より)

奈良市教育委員会では、鼓阪小学校と佐保小学校の学校規模適正化について、子ども達の教育環境をより良くするため、地域の皆様と共に取組んできました。

これまでの取組内容をQ&A方式でお知らせします。是非ご覧になっていただき、未来を生きる子ども達のためにできることを一緒に考えていきましょう。

Q&Aは次ページへ

鼓阪小学校、佐保小学校の統合再編Q&A

Q 統合再編

なぜ統合再編を実施するの？

学校教育の目的や目標をより良く実現するため、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく環境を整えることが大切です。

現在鼓阪小学校の全校児童数は74名であり、10人を切っている学年もあります。今後の推移からも、ますます児童数は減少していく見込みです。

このようなことから、鼓阪小学校と佐保小学校の統合再編を実施し児童の教育環境を整えていきたいと考えています。

いつ統合再編するの？

新しい学校は令和8年4月に開校します。

Q 協議会

学校規模適正化検討協議会ってなに？

学校規模適正化の実施について検討するもので、地域住民の代表者、保護者の代表者、学校関係者の代表者の皆様に設置いただいています。

これまで鼓阪地域では3回開催され、通学路、スクールバス、区域外就学についてなど、開校に向け協議を進めていただいています。また、佐保地域では4回開催されており、登下校の見守り等について協議を進めていただいています。

Q 通学

登下校の通学路の安全対策はどうなっているの？

令和8年度の統合に向けて、通学路上の安全対策に重点的に取り組みます。今年度と来年度の2年にわたり、道路管理者、警察、自治会等とともに鼓阪小学校と佐保小学校の合同で危険箇所の点検を実施し、安全対策に取り組めます。

スクールバスは運行するの？

通学距離が2キロメートルを超える児童を対象とした送迎車両の運行を予定しており、ワゴン車（運転手を含め定員10名）3台を用いて登下校時に各2便運行する計画を立てています。対象となる児童の状況を踏まえ、停留所の設定や運行ルート、運行時間について、今後協議する予定です。

バンビーホーム終業時の送迎車両の運行についても、児童や車両の運行状況を踏まえ、関係課間で協議しています。

Q 教育

統合に不安な子どもに対しての対応は？

統合前から両校の交流を行って良好な関係・気運をつくるなど、教員及び学校が一人一人の子どもにいていねいに寄り添い、対応していくよう、両校の教員が定期的集まり、新しい学校に向けて準備しているところです。

新しい学校には佐保の先生だけでなく、鼓阪の先生も配置し、きめ細やかに対応できるようにする予定です。

新しい学校ではどんな教育をするの？

統合後の新しい学校が魅力的なものとなり、教育面・施設面で奈良市のモデルとなるよう取り組んでいきます。

現在、両校の校長先生を中心に、魅力あるカリキュラムや体制について検討しています。国の制度なども活用して、新しいことにも積極的にチャレンジしていく予定です。

Q 校舎

新しい学校の校舎はどうなるの？

佐保小学校の校舎を建替え新しい校舎を建設します。鼓阪小学校、佐保小学校の児童の意見も取り入れながら設計を進めています。完成後のイメージは一枚目の「新しい学校のイメージ」です。

工事期間中の安全対策は佐保小学校と連携し万全を期します。

鼓阪小学校校舎はどうなるの？

講堂を含む本館については、文化的価値も高いことから避難所機能も含め、地域の活動拠点として活用できるよう残します。その他については、現在検討中です。

Q 地域活性化

鼓阪地域の活性化はどうなるの？

地域活性化は行政だけで実施するものではなく、地域の皆様が主体となり取り組むことによってはじめて、実現していくものです。地域住民の思いがひとつになった持続可能な活性化案の実現に向けて地域の皆様と取り組んでいきます。

これまでの経緯はこちらから確認できます

「若草中学校区（鼓阪小学校・佐保小学校）の取組」

<https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/163197.html>

